

# 富山市日本海文化研究所10年間の活動記録

## ●富山市日本海文化研究所設置経過

- 59年4月 富山市社会教育課主管による日本海文化を考えるセミナーの開催。
- 61年4月 富山市日本海文化研究所条例制定
- 61年9月
  - ・富山市日本海文化研究所発足
  - ・京都工芸繊維大学名誉教授布目順郎氏が所長に就任
  - ・社会教育課主管のセミナー事業を日本海文化研究所に移管
  - ・第1回日本海文化研究所所員会議
- 62年3月 日本海文化研究所研究員33名委嘱

## ●富山市日本海文化研究所条例

### (設置)

第1条 日本海沿岸地域に形成された文化（以下「日本海文化」という）について調査研究し、もって新たな地域文化の創造に寄与するため、富山市日本海文化研究所（以下「研究所」という）を設置する。

### (位置)

第2条 研究所の位置は、富山市安養坊47番地の2とする。

### (事業)

第3条 研究所は、第1条の目的を達成するため、次にかかげる事業を行なう。

- (1) 日本海文化についての調査研究に関すること。
- (2) 日本海文化についての研究資料の収集及び保管に関すること。
- (3) 日本海文化についての研究会及び講演会の開催に関すること。
- (4) 日本海文化についての研究紀要及び所報の刊行に関すること。
- (5) その他富山市教育委員会（以下「教育委員会」という）が必要と認める事業。

### (職員)

第4条 研究所に所長その他の職員を置く。

### (委任)

第5条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## 附 則

この条例は、昭和61年4月1日から施行する。

## ●日本海文化研究所の活動記録

### I. 活動の種類

- 1、日本海文化を考えるセミナー
  - (1)公開講演会
  - (2)学習会
  - (3)文化財見学会
- 2、吉野ヶ里遺跡弥生人衣服復元研究会
- 3、出版事業

- (1)『日本海文化研究所報』の刊行
  - (2)『日本海文化研究所紀要』の刊行
- 4、調査委託事業

## II、活動記録

### 1、日本海文化を考えるセミナー公開講演会

#### ①昭和61年度

(1)7月 5日

メインテーマ：「日本海文化論の現状と課題」

- |            |          |       |
|------------|----------|-------|
| 「民俗学の視点から」 | 東京大学教授   | 大林 太良 |
| 「古代史の視点から」 | 京都府立大学教授 | 門脇 禎二 |
| 「考古学の視点から」 | 同志社大学教授  | 森 浩一  |

(2)9月 6日 「日本海文化の研究について」

日本海文化研究所所長 布目 順郎

(3)9月20日 「食を通じてみた日本人の知恵」

東京農業大学教授 小泉 武夫

(4)1月24日 「出雲における最近の考古学的成果」

奈良国立博物館文部技官 前島 己基

(5)3月 7日 「日本海文化と水」

富山県立技術短大教授 高倉 盛安

#### ②昭和62年度

(1)5月29日（市立図書館視聴覚室）

「北前船と日本海交易」

日本海文化研究所所員 高瀬 保

(2)6月27日（富山市公会堂別館303）

「最近の中国における考古学的成果」

中国西北大学副教授 王 世和

(3)7月10日（県民会館704）

「日本海の玉の文化」 和洋女子大学教授 寺村 光晴

(4)8月 1日（県民会館704）

「前方後円墳の発生」 毎日新聞論説委員兼編集委員室 岡本 健一

(5)9月12日（県民会館704）

「石室からみた日潮関係について」

大阪府立泉尾高等学校教諭 堀田 啓一

#### ③昭和63年度

(1)5月28日（県民会館702）

「ナラ林文化と環日本海文化圏」

国立国際日本文化研究センター助教授 安田 喜憲

(2)6月25日（県民会館704）「日本海海運と北前船」

関西学院大学教授 柚木 學

(3)12月17日（県民会館704）

「藤の木古墳の絹製品と筒型金銅製品について」

日本海文化研究所所長 布目 順郎

#### ④平成元年度

(1)6月21日（県民会館702）

「海と神々」 富山民俗の会代表 漆間 元三

(2)7月21日（県民会館702）

## 「15世紀の朝鮮と日本海地域」

名古屋大学助手 高橋 公明

(3)8月18日(県民会館702)

「日本海沿岸で出土した景初4年銘の鏡について」

福知山教育委員会社会教育課主事 崎山 正人

(4)9月7日(市立図書館視聴覚室)

「吉野ヶ里遺跡の絹織物について」

日本海文化研究所所長 布目 順郎

(5)10月6日(県民会館702)

「旧石器時代の東アジアと日本」

千葉大学教授 加藤 晋平

(6)3月23日(県民会館704)

「木の実と日本海文化」

国立民族学博物館助教授 松山 利夫

## ⑤平成2年度

(1)6月19日(県民会館702)

「吉備よりみた古墳文化の様相」

神戸女子大学助教授 間壁 霞子

(2)8月29日(富山市民プラザ)

「珠洲焼の国際性」

国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康暢

(3)12月20日(県民会館701)

「北陸地域の日本海交易」

神奈川大学短期大学部教授 網野 善彦

(4)3月27日(県民会館509)

「地名・人名に探る日本海文化」

岡崎女子短期大学教授 伊藤 宏

## ⑥平成3年度(会場:県民会館702)

(1)5月29日

「『まわた』—防寒に果たした大きな役割—」

日本海文化研究所所長 布目 順郎

(2)9月25日

「編布・織布から縄文人の衣生活を考える」

東海学園女子短期大学助教授 尾関 清子

(3)11月29日

「東アジア文化と正倉院宝物—日本古代の琥珀の道—」

奈良国立博物館資料管理研究室長 前島 己基

(4)2月20日

「鳥取県上淀庵寺と日本海文化」

同志社大学・奈良芸術短大講師 佐古 和枝

## ⑦平成4年度(会場:県民会館)

(1)4月27日

「日本先史文化のルーツと大陸」

前中国社会科学院考古研究所副所長 安 志敏

(2)7月24日

「正倉院の染織文様にみる唐風とその日本化」

前宮内庁正倉院事務所保存課長 松本 包夫

(3)10月23日

「黒潮の道と日本海」

久留米信愛女学院短期大学教授 高士 与市

## ⑧平成5年度(会場:富山市民プラザ)

(1)6月10日

「越中越後漂流民—北前船乗組員のロシア漂流—」

立正大学教授 木崎 良平

(2)7月13日

「正倉院と唐代文化」

中国西北大学副教授 王 維坤

(3)11月11日

「古建築の見方—富山県下の建築を中心として—」

瑞龍寺修理設計管理事務所所長 上野 幸夫

(4)3月17日

「富山藩十代藩主前田利保」

富山女子短期大学助教授 綿貫 豊昭

## ⑨平成6年度(会場:富山市民プラザ)

(1)6月14日

「古代越の国とまじない文化」

奈良大学学長 水野 正好

(2)7月22日

「長安の都と平城京から探る日中文化の交流」

中国西北大学副教授 王 維坤

(3)3月2日

「法隆寺の上代染織品からみた日中の文化交流」

東京国立博物館法隆寺宝物研究室主任研究官 沢田むつ代

(4)3月17日

「日本海沿岸の焼きもの文化」

元高岡市立美術館長 定塚 武敏

## ⑩平成7年度(会場:富山市民プラザ)

(1)7月7日

「石塔における越前式側面飾り—月輪・連子・格狭間—」

石造美術研究家 京田 良志

(2)8月31日

「吉野ヶ里と邪馬台国」

佐賀県教育庁文化財課課長 高島 忠平

(3)11月10日

「正倉院の染織」

奈良国立博物館客員研究員 松本 包夫

(4)3月29日

「北陸地域における近世城下町の成立」

富山大学教育学部教授 深井 甚三

## 2、日本海文化を考えるゼミナール学習会

## ①昭和63年度

・メインテーマ:「北前船廻船問屋」(年間9回)

・講師 日本海文化研究所所員 高瀬 保

## ②平成元年度

・メインテーマ:「富山湾沿岸の海の文化」(10回)

・講師 富山県民俗の会会長 漆間 元三

## ③平成2年度

・メインテーマ:「海の生活—富山湾沿岸の生活文化—」

(学習と現地調査、10回)



・講師： 富山県民俗の会会長 漆間 元三

・助言者： 四方・岩瀬・水橋地区の漁業関係者

④平成3年度（会場・八人町公民館、県民会館）

・メインテーマ：

「考古学からみた各時代における日本海交流Ⅰ」（9回）

・講師： 日本海文化研究所研究員 舟崎 久雄

⑤平成4年度（会場・八人町公民館）

・メインテーマ：

「考古学からみた各時代における日本海交流Ⅱ」（9回）

・講師： 日本海文化研究所研究員 舟崎 久雄

⑥平成5年度（会場・八人町公民館、市役所会議室）

・メインテーマ：「歴史に見る郷土富山Ⅰ」（10回）

・講師： 日本海文化研究所研究員 中村太一路

⑦平成6年度（会場・八人町公民館、市役所会議室）

・メインテーマ：「歴史に見る郷土富山Ⅱ」（10回）

・講師： 日本海文化研究所研究員 中村太一路

⑧平成7年度（会場・八人町公民館）

（1前期（6月～10月）

・メインテーマ：「古代の遺跡を読む

ー地下からのメッセージ」（5回）

・講師： 金沢経済大学教授 藤井 一二

（2後期（11月～3月）

・メインテーマ：「越中の武将たち」（5回）

・講師： 洗足学園魚津短大教授 奥田 淳爾  
（日本海文化研究所研究員）

### 3、日本海文化を考えるゼミナール文化財見学会

①平成2年10月19日 9時～ 能登方面

②平成3年10月15日 8時20分～17時

・見学地：氷見市内文化財（朝日貝塚、阿尾城跡、大栄寺、大境洞窟遺跡、加納横穴古墳群、布勢の円山、光久寺茶庭、藤波神社）

指導講師： 氷見市教育委員会主任学芸員 小境 卓治

③平成4年9月5日

・Aコース：見学地＝富山県東部の遺跡見学

（朝日町不動堂遺跡・入善町じょうべのま遺跡、魚津埋没林博物館）

・Bコース：見学地＝万葉の史跡など見学

（高岡市万葉歴史館・御亭角遺跡・勝興寺）

④平成5年10月9日 8時30分～13時30分

・Aコース：見学地＝富山県西部の遺跡見学

（若宮古墳、谷内21号古墳、桜町遺跡、小矢部市教育研修資料館）

指導講師： 小矢部市教育委員会 伊藤 隆三

富山考古学会員・日本海文化研究所研究員 西井 龍儀

・Bコース：見学地＝立山信仰の文化財見学

（国指定重要文化財奥山廻浮田家住宅、富山県立山博物館）

指導講師： 立山博物館主任・日本海文化研究所研究員 木本 秀樹

⑤平成6年10月7日

・Aコース：見学地＝魚津周辺の文化財

（魚津歴史民俗博物館、小川千光寺、特別天然記念物魚津埋没林博物館）

指導講師： 魚津市教育委員会・日本海文化研究所研究員 貞柄 一志

・Bコース：見学地＝史跡石動山天平寺遺跡

（氷見市立博物館、史跡石動山、天平寺遺跡）

指導講師： 氷見市文化財審議委員 橋本 芳雄

氷見市立博物館 大野 究

石川県鹿島町教育委員会

### 4、吉野ヶ里遺跡弥生人衣服復元研究会

①第1回研究会

期 日：平成4年4月25日

会 場：文化学園服飾博物館内

（東京都渋谷区代々木3-22-1）

参加者：植木淑子、末次正之、道明三保子、布目順郎

講 演：演題「吉野ヶ里遺跡出土の織物について」

講師 富山市日本海文化研究所所長 布目順郎

②第2回研究会

期 日：平成5年5月7日、8日

会 場：文化学園服飾博物館内

（東京都渋谷区代々木3-22-1）

参加者：青木茂美、植木淑子、大平光子、沢田むつ代、

末次正之、道明美保子、布目順郎

③第3回研究会

期 日：平成6年9月5日、13時～17時

会 場：富山市民俗民芸村内考古資料館

（富山市安養坊47-2）

参加者：青木茂美（文化女子大学家政学部服飾学科）

大平光子（文化女子大学家政学部服飾学科）

沢田むつ代（東京国立博物館学芸部）

七田忠昭（吉野ヶ里遺跡発掘調査事務所）

白井 進（京都龍村織物）

末次正之（トスコ株式会社）

高島忠平（佐賀県教育庁文化課）

道明三保子（文化学園服飾博物館）

布目順郎（富山市日本海文化研究所）

議 題：(1)衣服の糸かぎりの様式

(2)吉野ヶ里遺跡出土の新資料について

(3)吉野ヶ里遺跡SJ1002甕棺およびSJ0135甕棺出土の絹復元について

(4)議題(3)の絹によって復元される衣服の形態について

④第4回研究会

期 日：平成7年8月30日13時～17時

会 場：富山県民会館602号室

参加者：沢田むつ代、白井 進、末次正之、高島忠平、

田中賢作（京都龍村織物）、道明三保子、布目順郎

議 題：(1)吉野ヶ里遺跡SJ1002甕棺およびSJ0135甕棺出土の

織物復元およびそれによる衣服の復元について  
(2)その他

# 5、『富山市日本海文化研究所報』の刊行

## ①第1号 昭和62年3月31日刊

・日本海文化の研究についての所感

日本海文化研究所所長 布目 順郎

・富山市飯野新屋遺跡出土の繊維製品について

日本海文化研究所所長 布目 順郎

・「如在の礼」で神をもてなす

日本海文化研究所研究員 森 俊

## ②第2号 昭和63年3月31日刊

・黒部川左岸の城館群とその性格—堀切館を中心に—

富山県職員・日本海文化研究所研究員 高岡 徹

・宇奈月町下立の正月飾り

日本海文化研究所研究員 森 俊

・富山の貝類相の特徴

市科学文化センター職員・日本海文化研究所研究員 布村 昇

## ③第3号 平成元年1月10日刊

・ナラ林文化と環日本海文化圏

国立国際日本文化研究センター助教授 安田 喜憲

・本覚寺と杉崎廃寺との関係について

越中史壇会会員 佐伯 哲也

## ④第4号 平成2年2月14日刊

・福知山市広峯15号墳出土の

槍装着部を巻いた漆塗糸について

日本海文化研究所所長 布目 順郎

・呉羽丘陵杉坂墳墓群をめぐって

—埋葬遺跡にみる権力構造—

日本海文化研究所研究員 駒見佳容子

## ⑤第5号 平成2年9月1日刊

・吉野ヶ里遺跡からでた絹と麻について

日本海文化研究所所長 布目 順郎

・富山県中新川郡立山町芦崎寺の穴熊狩り伝承

日本海文化研究所研究員 森 俊

## ⑥第6号 平成3年3月5日刊

・モンゴル出土の中世織物と織目圧痕をもつ瓦について

日本海文化研究所所長 布目 順郎

## ⑦第7号 平成3年8月10日刊

・ジョウトク様とマタギ伝承

日本海文化研究所研究員 金子 玲子

## ⑧第8号 平成4年1月20日刊

・富山県朝日町蛭谷の穴熊狩り伝承

高岡高校教諭・研究員 森 俊

## ⑨第9号 平成4年7月30日刊

・日本先史文化のルーツと大陸（講演要旨）

中国考古学会常務理事 安 志敏

・富山市東岩瀬の絵馬とその特徴

伊波世野文化研究会代表 水落 忠一

## ⑩第10号 平成4年10月30日刊

・古代越中国の白牒綿について

日本海文化研究所所長 布目 順郎

## ⑪第11号 平成5年8月31日刊

・氷見市仏生寺の齋藤家に伝わる

室町中期の鞍を包む絹布団について

日本海文化研究所所長 布目 順郎

・縄文時代の布

東海学園女子短期大学助教授 尾関 清子

## ⑫第12号 平成5年12月20日刊

・越中・越後漂流—北前船乗組員のロシア漂流—（講演要旨）

立正大学教授 木崎 良平

## ⑬第13号 平成6年12月15日刊

・許家客遺跡を訪ねて

魚津市社会教育課・日本海文化研究所研究員 真柄 一志

## ⑭第14号 平成7年3月31日刊

・長安の都と平城京から探る日中文化の交流

中国西北大学副教授 王 維坤

・梶米次郎—北洋漁業の帆船の売買、同漁場の売却—

前富山郷土博物館館長・日本海文化研究所所員 高瀬 保

## ⑮第15号 平成7年7月31日刊

・狛犬の民俗—富山県上新川郡大山町上滝の場合—

高岡高校教諭・日本海文化研究所研究員 森 俊

・上賀茂神社領越中新保御厨について

—『月詣和歌集』収載歌の紹介—

富山高校教諭・日本海文化研究所所員 久保 尚文

## ⑯第16号 平成8年3月29日刊

・富山平野から見られる越中の雪形

富山大学教授・富山県生物学会会長・日本海文化研究所所員 長井 眞隆

・「赦過有罪」に見る越中の位置と

加賀藩領越中における庶民への判例

富山県公文書館資料課長・日本海文化研究所研究員 新田 二郎

# 6、『富山市日本海文化研究所紀要』の刊行

## ①第1・2号 昭和63年12月31日刊

・「射水郡五十里組品々帳調査報告書」

日本海文化を考えるゼミナール受講生

四十物雪枝、齊藤うめ子、瀬戸健治、高桑英子、

中川敦子、畠山良平、松井治賢、森キク子

・「石見国外浦、越後国寺泊浦、安芸国忠海浦の

客船帳にみられる越中の廻船」

日本海文化研究所所員 高瀬 保

## ②第3号 平成元年7月31日刊

・「富山市内廻船問屋調査報告書」

（昭和63年度日本海文化研究所委託調査事業）

富山市内廻船問屋調査委員会

建築調査編 金沢工業大学助教授 土屋 敦夫

歴史調査編 富山大学名誉教授 坂井 誠一

富山市郷土博物館館長 高瀬 保

## ③第4号 平成2年3月刊

・「氷見南部地域における中世山城とその性格



一城郭の視点からみた中世地域史の様相一

富山県職員・日本海文化研究所研究員 高岡 徹

④第5号 平成3年3月刊

・「富山湾沿岸漁業民俗調査報告書」

(平成3年度日本海文化研究所委託調査事業)

富山湾沿岸民俗文化調査会代表

富山県民俗の会代表 漆間 元三

⑤第6号 平成5年3月31日刊

・「戦国期上杉支城の復元研究

一越中今泉城をめぐる戦国史一」

富山県職員・日本海文化研究所研究員 高岡 徹

・「富山県小矢部川左岸地域における中世山城とその性格

一城郭の視点からみた中世地域史の様相一」

高岡 徹

⑥第7号 平成6年3月31日刊

・「歴史的町並みの調査記録報告書」

(平成4年度日本海文化研究所委託調査事業)

財団法人金沢総合技術研究センター

研究担当代表 金沢工業大学教授 土屋 敦夫

研究分担者代表

富山市文化財調査審議会会長 坂井 誠一

・論考「海運の近代化と北前船経営の実態」

日本海文化研究所所員 高瀬 保

⑦第8号 平成7年3月1日刊

・「富山湾岸における越前式笠付墓標分布調査報告書」

(平成4年度日本海文化研究所委託事業)

富山湾沿岸越前石文化調査会

代表 日本海文化研究所所員 京田 良志

・付録「北海道・東北地方の越前石文化」(『日本の石』60より)

京田 良志

⑧第9号 平成8年3月29日刊

・「富山湾沿岸船絵馬調査報告書」

富山湾沿岸船絵馬調査会

代表 富山経済専門学校講師 塩 照夫

研究担当代表 金沢工業大学教授 土屋 敦夫

研究分担者代表 富山市文化財調査審議会会長 坂井 誠一

・調査期間:平成4年8月～5年3月

・報告書刊行:平成6年3月(『研究所紀要7号』)

④平成4年度 「富山湾岸における越前式笠付墓標分布調査」

・調査機関:富山湾沿岸越前石文化調査会

代表 日本海沿岸研究所所員 京田 良志

他、調査員 4名

・調査期間:平成4年6月～5年3月

・報告書刊行:平成7年3月(『研究所紀要8号』)

⑤平成5年度 「富山湾沿岸船絵馬調査」

・調査機関:富山湾沿岸船絵馬調査会

代表 富山経済専門学校講師 塩 照夫

他、調査員 6名

・調査期間:平成5年4月～6年3月

・報告書刊行:平成8年3月(『研究所紀要9号』)

⑥平成6年度 「近世越中の商業経済史についての調査」I

(石川家文書目録)

・調査機関:富山社会経済史調査会

代表 富山大学講師・日本海文化研究所所員 高瀬 保

他、調査員 4名

・調査期間:平成6年9月～7年3月

・報告書刊行:平成9年3月(『研究所紀要10号』)

⑦平成7年度 「近世越中の商業経済史についての調査」II

(密田家文書目録)

・調査機関:富山社会経済史調査会

代表 日本海文化研究所所員 高瀬 保 他

・調査期間:平成6年9月～8年3月

・報告書刊行:平成9年3月(『研究所紀要11号』)

7、富山市日本海文化研究所調査委託事業

①昭和63年度 「富山市内廻船問屋調査」

・調査機関:富山市内廻船問屋調査委員会

建築調査編 金沢工業大学助教授 土屋 敦夫

歴史調査編 富山市文化財調査審議会会長 坂井 誠一

・調査期間:昭和63年6月～平成元年3月

・報告書刊行:平成元年7月(『研究所紀要3号』)

②平成3年度 「富山湾沿岸漁業民俗調査」

・調査機関:富山湾沿岸民俗文化調査会

代表 富山県民俗の会代表 漆間 元三

他、調査員 10名

・調査期間:平成2年7月～4年1月

・報告書刊行:平成4年3月(『研究所紀要5号』)

③平成4年度 「歴史的町並みの調査」

・調査機関:財団法人金沢総合技術研究センター